

桐生市議会 創志会 行政視察報告書

視察都市	東京都 渋谷区
視察日時	令和 元年 7 月 19 日 (金) 午前 10 時 30 分 ～ 午前 11 時 30 分
参加者	佐藤幸雄 佐藤光好 人見武男 北川久人 園田基博 工藤英人 石渡宏明
視察項目	議場の整備について

◎視察概要

1. 説明要旨

挨拶・説明：

- ・渋谷区議会事務局 事務局長 斉藤 則行 様
- ・渋谷区議会事務局 次長 野島 一純 様

渋谷区の概要（令和元年 7 月 1 日現在）：

- ・人口 229,291 人、世帯数 139,642 世帯、総面積 15.11 km²
- ・市制施行 昭和 7 年 10 月 1 日
- ・一般会計予算 924 億円（H. 31 年度当初）
- ・議員定数 34 名（男性 23 名、女性 11 名）
 - 議会は 4 常任委員会 及び 4 特別委員会 により構成
 - 常任委員会：総務・区民環境・文教・福祉保健
 - 特別委員会：自治権確立・交通 公有地問題・
五輪 パラリンピック対策・多様性社会推進

2. 議場の整備について:

庁舎並びに議場移転の経緯:

- ・ 東日本大震災を契機に行った旧庁舎の耐震診断結果に基づき、庁舎の移転と建替えを実施。H. 31. 1. 15. より新庁舎開庁、執務開始となった。

新庁舎並びに新議場のコンセプト:

- ① 環境への配慮 … 自然採光、自然外気取入、省エネルギー機器導入
- ② ユニバーサル・デザインへの配慮 … 視覚・聴覚障害者等への配慮
- ③ ICT を活用した効率的な執務環境の整備 … 電子採決システム他
- ④ セキュリティの確保 … パブリックとワークスペースの分離他
- ⑤ 議会に見える化 … 区民に見える構造、中継設備の整備他



新議場の特徴:

- ・ 一般傍聴席の席数は 57 席。最前列に聴覚障害者席と手話通訳席を確保。
- ・ ガラス張りの防音ブースを親子傍聴席用として設置。
- ・ 6 人までの車椅子専用スペースを確保。
- ・ 議場正面に 80 インチモニター 2 台、通路側に 70 インチモニター 1 台。評決結果を分かりやすく表示。
- ・ 議会 ICT 化推進の一環として、全議員にタブレット端末を貸与。
 - 資料のペーパーレス化による議会運営の効率化
 - 議会運営の活性化
 - 議員の十分な能力の発揮

◎視察成果による当局への提言または要望等

視覚や聴覚障害者への行き届いた配慮設計、また車椅子専用スペース、防音効果のある親子ブースの設置等、バリアフリー面において参考となる点が多々見受けられた。

健常者のみならず、障害を抱える人々にとっても門戸を広げた、開かれた議会の運営を行っていく上で、こうしたユニバーサル・デザインを幅広く採用している点に、首都圏中枢の一角を担う渋谷区の強い「想い」を垣間見ることができた。



尚、電子採決システムや大型モニター等、ICT を活用した執務環境の整備や、パブリックスペースとワークスペースの分離を図ることでのセキュリティ確保取組みについても、その効率性や機密性保持の観点はもとより、区民に見える構造、議会の見える化の促進にあたり効果を期待できるものであり、桐生市における順次導入も今後、併せて促していきたいと考える。

全般、他地区での取り組み参考事例のひとつとして位置付けたいと考える。